

日本高野連発第W3254号
平成17年10月7日

長野県高等学校野球連盟

会長 赤地 憲一 殿

財団法人 日本高等学校野球連盟

会長 脇村 春夫

硬式野球ボールの規格変更について(通達)

今般、我が国のアマチュア野球団体が協議し、硬式野球ボールの規格の一部を変更することで合意、メーカー各社もこれに応じ、07年シーズンインから採用することになりました。

今回の規格変更は、国際試合で使用される公認球とボールの縫い糸を同じにすること、および安全性を確保するため少しでも反発を抑えるため、ボールのゴム芯の反発を、これまで認められてきた範囲(61cm)のもっとも下方の20cmの範囲に抑えることになりました。

07年から変更される硬式野球ボールの見本と縫い糸の比較サンプルは、先に8月5日開催した都道府県高等学校野球連盟会長会議で配布させていただいていますので、各連盟ともすでにご理解いただいているところと存じます。

ついでには、高校野球としては新規格ボールの使用は、07年シーズンインからとし、第79回選抜高等学校野球大会ならびに春季各都道府県大会から採用することになりますのでよろしくご承知おきください。

なお、メーカー各社は在庫調整の都合もあり、新規格のボールの販売は06年10月からと通知がありました。併せてご承知おきください。

変更となった規格は以下の通りです。

記

1) ゴム芯の反発性能について

ゴム芯の反発性能を4mの高さから大理石の板の上に落とす自然落下方式で、跳ね返りの高さを190cm±10cmとする。なお、条件は室内の常温、常湿とする。

2) 縫い糸

ボールの表皮の牛革の縫い合わせ糸は綿糸を使用することとし、糸番手16番10本撚りの太さを基本とする。

以上